

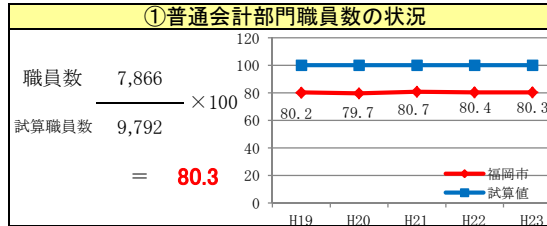
参考指標による職員数等の現状・分析シート

福岡市

<基本データ>

団体名	福岡市
人口(H23.3.31)	1,409,297 人
面積(H23.10.1)	342 km ²
全職員数(H23.4.1)	9,592 人
普通会計部門	7,866 人
一般行政部門	5,537 人
教育部門	1,283 人
消防部門	1,046 人
公営企業等会計部門	1,726 人
財政力指数(H22)	0.84

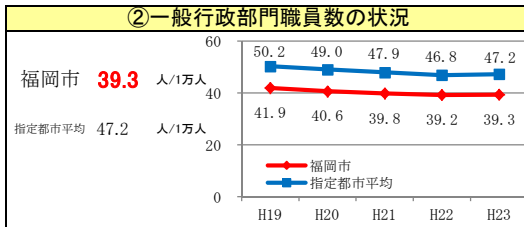
※教育・消防の各部門については、国の法令等により配置基準が定められています。



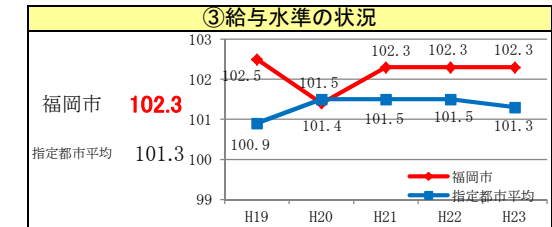
※人口・面積を基にした試算職員数と実際の職員数との比較を示しています。

<三角形の見方>
 ・太線(赤)は福岡市の状況を表しています。
 ・細線(青)は指定都市の平均値等を表しています。

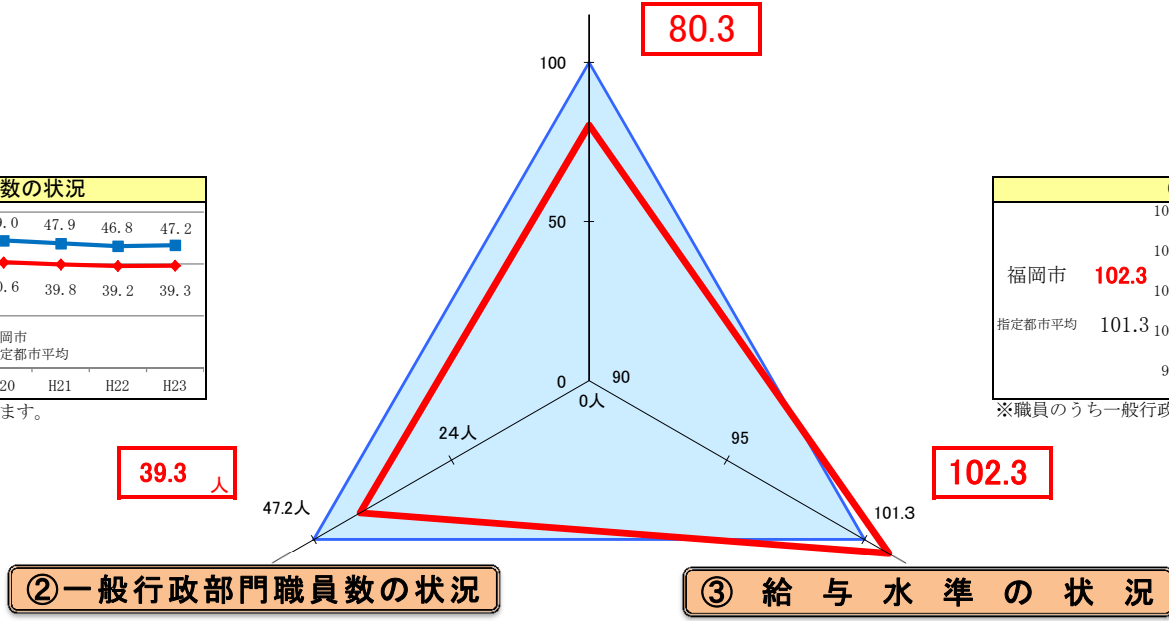
①普通会計部門職員数の状況



※人口1万人当たりの職員数を示しています。



※職員のうち一般行政職に係る給与水準を示しています。



②一般行政部門職員数の状況

③給与水準の状況

<分析欄>

【①普通会計職員数の状況】

本市は昭和47年度を初年度とし、古くから行財政の見直しを進めてきた。平成8年には「福岡市行財政改革大綱」を策定し、行政運営の簡素・効率化の観点から、事務事業の見直しや民間委託の推進、意思決定の簡素化などを行ってきた。その後も不断の見直しを着実に実行した結果、職員数が他の政令市を下回る数値となった。

【②一般行政部門職員数の状況】

本市は昭和47年度を初年度とし、古くから行財政の見直しを進めてきた。平成8年には「福岡市行財政改革大綱」を策定し、行政運営の簡素・効率化の観点から、事務事業の見直しや民間委託の推進、意思決定の簡素化などを行ってきた。その後も不断の見直しを着実に実行した結果、職員数が他の政令市を下回る数値となった。

【③給与水準の状況】

近年の本市のラスパイレス指数は、政令指定都市の平均を上回っているものの、本市職員の給与は、人事委員会の勧告に基づく給与改定により、市内民間給与との均衡が図られており、適正な水準となっている。今後も、人事委員会の勧告を尊重し、市内民間給与との均衡が図られるよう措置するとともに、より一層市民の理解が得られるよう、必要な見直しに努めていく。

【④その他】